東京湾環境一斉調査結果について（2022 年度）

The Knights

環境省は 2022 年度における東京湾環境一斉調査の調査結果について取りまとめました。

本調査は、民間企業・市民団体・教育機関・研究機関・地方公共団体等が協働し、モニタリングを実施することにより、国民・流域住民が東京湾再生に関心を持ってもらうことや、東京湾とその関係する河川等の水環境の把握及び汚濁メカニズム等の解明を目的としています。

なお、2008 年度から毎年、赤潮、青潮及び貧酸素水塊が発生する夏季に、一斉に東京湾及び流域の河川等において水質調査等を実施していて、2022 年度で第 15 回目の実施となりました。

＜概要＞

1)調査日

2022 年 8 月 3 日(水)を基準日とし、基準日を含む数日間を中心に調査を実施

2)参加機関

民間企業(74 社)、市民団体(14 団体)、教育・研究機関(5 機関)、
地方公共団体(72 団体)、国(14 機関)、その他(3 機関)等　　計 182 機関

3) 調査地点

海域 573 地点、河川・湖沼 414 地点 計 987 地点

4) 水質調査項目

【海域】水温、塩分、溶存酸素量(DO)、化学的酸素要求量(COD)、透明度

【河川・湖沼】水温、流量、溶存酸素量(DO)、化学的酸素要求量(COD)、透視度

調査結果については、表層の溶存酸素量(DO) は、湾奥部西側の沿岸域で特に浦安市や羽田空港沖付近で高い値を示しており、中層及び底層では、湾央部から湾奥部にかけて東西方向に貧酸素水塊(DO が 3 mg/L を下回った水塊)が分布していました。

そして、化学的酸素要求量(COD)は、表層、中層、底層のいずれにおいても湾央部から湾口部に向かうにしたがい低下する傾向がみられました。

当社では、河川水等の環境水分析に加え、多くの排水項目の分析についても長年の実績があり、短納期・多検体での対応が可能です。ご不明な点等ありましたら、是非一度ご相談ください。

資料　2023 年 3 月 31 日付　環境省報道発表資料

環境検査箇所　武井友宏

The Knights of Environmental Science
内藤環境管理株式会社
〒336-0015 さいたま市南区大字太田窪 2051-2
TEL.0120-01-2590　FAX.048-886-2817
URL:www.knights.co.jp

PFOS、PFOA とは？

有機フッ素化合物で撥水、撥油性があり、難分解性で安定しているため、コーティング剤や界面活性剤などとして様々な製品に使用されてきました。しかし、その安定性から環境中の残留性や生体中の蓄積性が問題視され、国内外で規制の動きがあります。

お問合せはこちら